

SDGsへの取組活動

宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点事業

宮城県では、平成27年度より宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点(以下、プロ人材拠点)を設置し、企業の攻めの経営への転換を実践していくプロフェッショナル人材の活用について、経営者の意欲を喚起するとともに、人材紹介事業者を通じたマッチングのサポートを行っております。2023年1月に、企業の人材ニーズへの対応の更なる強化に向けて、プロ人材拠点が仲立ちし、当金庫を含む県内信用金庫5機関と人材紹介事業者7社が「宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点事業の活用に関する覚書」を締結しました。当金庫は、プロ人材拠点を活用し、お取引先への更なる支援に取組んでまいります。



第22回理事長旗争奪少年野球大会

2022年10月16日(日)、10月23日(日)の2日間に亘り少年野球大会が開催されました。新型コロナウイルスの影響で3年振りの開催ではありましたが、3市5町から17チームが参加し、予選から熱のこもった熱い試合が繰り広げられました。決勝戦では、大河原ウィングス(大河原町)が岩沼野球スポーツ少年団(岩沼市)を「タイブレーク方式」により9対7で破り、初優勝を飾りました。



一般財団法人仙南信用金庫育英会の運営(奨学金の支給)

創立60周年の記念事業として始めた大学進学者への奨学金制度が2023年度で13年目に入り、県南地域の県立高校卒業生、延べ84名の学生に奨学金を支給をしています。奨学生には大学進学後の4年間、返済義務がない「給付型奨学金」として月額20千円を支給しています。



「奨学生内定通知書」交付の様子 白石高等学校佐藤校長先生(右)



角田高等学校小川校長先生(右)

地域密着型金融の推進

「地域密着型金融」とは、「お客様との親密で長い付き合いのなかで蓄積してきた情報を基に行う金融取引」のことです。協同組織金融機関である当金庫は、その活動の全てが「地域密着型金融」と考えています。

1. 基本的考え方

当金庫では、「地域とともに生きていく」をスローガンに地域経済の発展に貢献していくことを経営の基本とし、地域のお客様から預金としてお預かりした資金を地元に戻元できるよう積極的に融資取引の拡大をはかり、地域の中小企業や個人のお客様の資金ニーズにお応えしてまいります。

2. 具体的な取組み

- 営業店と本部専門部署並びに外部専門機関が連携し、お客様の経営改善のお手伝いをしています。
- 不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資手法の導入に取り組んでいます。
- 営業活動を通じた融資相談・融資提案を行い地域経済に貢献するため、外部研修に職員を派遣する等、人材の育成と職員のスキルアップをはかっています。
- 「ビジネスマッチ東北2022秋」に参画し、お取引先企業の販路拡大をはかるとともに、地域の産業の振興をはかっています。
- 地方公共団体に対する資金の貸付、公金預金の受け入れ、地方債の引受等の取引を通じて地域の発展に貢献していきます。

3. 定量的な取組み実績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

● 経営改善支援等

		(単位：先数)					(単位：%)		
		期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先数	aのうち 期末に債務者 区分がランク アップした先数	aのうち 期末に債務者 区分が変化し なかった先数	aのうち 再生計画を 策定している 全ての先数	経営改善支援 取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率
		A	a	β	γ	δ	a/A	β/a	δ/a
正	常 先 ①	1,661	0	/	0	0	0.0%	/	—
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	636	1	0	1	1	0.2%	0.0%	100.0%
	うち要管理先 ③	2	0	0	0	0	0.0%	—	—
	破綻懸念先 ④	86	5	1	4	3	5.8%	20.0%	60.0%
	実質破綻先 ⑤	15	0	0	0	0	0.0%	—	—
	破綻先 ⑥	3	0	0	0	0	0.0%	—	—
	小計 (②～⑥の計)	742	6	1	5	4	0.8%	16.7%	66.7%
	合計	2,403	6	1	5	4	0.2%	16.7%	66.7%

- 創業計画の策定支援先(不動産賃貸業を除く) 17先数
- 創業期のお取引先への融資実績 1,874百万円

■ ビジネスマッチ東北2022秋

第17回目となる東北最大級のビジネス展示・商談会が夢メッセみやぎで開催されました。開催イベントを通じてお客様の販路開拓の支援に努めております。

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

17 パートナシップで
目標を達成しよう

